

# 当年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 ぼだいじ福祉会

ぼだいじこども園

## (1)幼児部

	自己評価 A:できている B:ある程度できている C:改善を要する	A	B	C
教育について	・園の教育理念を理解し、実施している。	8名	0名	0名
	・行事は、日常の延長線に基づいて、子どもの発達やあそびの過程を大切にしながら、適切に準備、振り返りができている。	8名	0名	0名
	・子どものやりたいことや、興味のあること、思いや言動を保育に取り入れ子ども主体の保育を心がけている。	8名	0名	0名
	・子どもが主体的に活動できるような人的・物的環境を整備し、時間の保証をしている。	8名	0名	0名
	・1人ひとりの子どもに応じ、心に寄り添い、適切な援助をしている。	8名	0名	0名
環境について	・園庭、室内環境では園児自身が安心して行動できるように見守り、援助している。	8名	0名	0名
	・園庭、室内の環境は子どもたちのあそびに合わせて、整えている。	8名	0名	0名
	・遊具、環境等の安全点検とともに、整理整頓も適切に行っている。	8名	0名	0名
	・アレルギーや体調不良時の対応投薬の流れは、マニュアル意識し、適切な対応をしている。	8名	0名	0名
	・事故、怪我の際は報連相を基本にヒヤリハットや事故報告書を作成し保育に反映している。	8名	0名	0名
	・避難訓練(火事・地震・不審者・浸水)などの緊急時に対応する体制を把握できている。安全確保のために適切な対応を心がけている。	8名	0名	0名
子どもとの接し方	・1人1人の子どもの人格を尊重し、子どもの思いを大切に援助の工夫をしている。	8名	0名	0名
	・ふさわしい言葉を選び、すべての子どもに平等に接している。	8名	0名	0名
	・子どもの自己肯定感が育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれている。	8名	0名	0名
	・子どもが自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意している。	8名	0名	0名
	・子どもの力を信じ、見守る援助の大切さを感じている。	8名	0名	0名
保護者支援	・特別な支援が必要な子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育内容について配慮している。	7名	1名	0名
	・子どもの育ち、困り感や気になることを共有し、保護者との信頼関係を構築しながら必要であれば専門機関との連携が図られている。	8名	0名	0名
保育に	・クラスだよりなどの配布頻度や時期は適切である。また、紙面では子どもたちの育ちが伝わるように配慮している。	8名	0名	0名
	・保育の資質向上のために、園内、園外の研修会に積極的に参加している。	8名	0名	0名
研究	・研修で学んだことを活かした保育を心掛け、職員で共有できるよう努めている。	8名	0名	0名
	・園内研究のテーマには、顕著に取り組んでいる。	8名	0名	0名
	・自身の課題に取り組んでいけるように前向きに過ごしている。	7名	1名	0名
	・保育を深めるために職員間で話し合うことができている。	8名	0名	0名
	・個人情報の取扱い、データ流出など守秘義務の遵守がされている。	8名	0名	0名
組織の一員として	・与えられた役割に責任を持ち、自分の力を発揮するよう努めている。	8名	0名	0名
	・就業規則を理解し誠意をもって業務遂行に当たっている。	8名	0名	0名
	・報告、連絡、相談は適切にされている。	8名	0名	0名
	・苦情解決の仕組みが確立され、理解している。	8名	0名	0名
	・健康面、自己管理や整理整頓し業務の効率化を意識している。	6名	2名	0名
	・身だしなみ、挨拶、言葉遣いや電話対応など外部対応は適切に行っている。	8名	0名	0名
	・子どもが食事を楽しむことができる雰囲気づくりをしている。	8名	0名	0名
食育	・安全で、安心できる食材の提供をしている意図を理解している。	8名	0名	0名
	・子どもにふさわしい食生活が展開されるように、見直しや改善を行っている。	8名	0名	0名
	総合評価	8名	0名	0名

# 当年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 ぼだいじ福祉会

ぼだいじこども園

## (1)乳児部

	自己評価 A:できている B:ある程度できている C:改善を要する	A	B	C
教育について	・園の教育理念を理解し、実施している。	15名	0名	0名
	・行事は、日常の延長線に基づいて、子どもの発達やあそびの過程を大切にしながら、適切に準備、振り返りができている。	15名	0名	0名
	・子どものやりたいことや、興味のあること、思いや言動を保育に取り入れ子ども主体の保育を心がけている。	14名	1名	0名
	・子どもが主体的に活動できるような人的・物的環境を整備し、時間の保証をしている。	15名	0名	0名
	・1人ひとりの子どもに応じ、心に寄り添い、適切な援助をしている。	15名	0名	0名
環境について	・園庭、室内環境では園児自身が安心して行動できるように見守り、援助している。	15名	0名	0名
	・園庭、室内の環境は子どもたちのあそびに合わせて、整えている。	15名	0名	0名
	・遊具、環境等の安全点検とともに、整理整頓も適切に行っている。	14名	1名	0名
	・アレルギーや体調不良時の対応投薬の流れは、マニュアル意識し、適切な対応をしている。	15名	0名	0名
	・事故、怪我の際は報連相を基本にヒヤリハットや事故報告書を作成し保育に反映している。	15名	0名	0名
	・避難訓練(火事・地震・不審者・浸水)などの緊急時に対応する体制を把握できている。安全確保のために適切な対応を心がけている。	14名	1名	0名
子どもとの接し方	・1人1人の子どもの人格を尊重し、子どもの思いを大切に援助の工夫をしている。	15名	0名	0名
	・ふさわしい言葉を選び、すべての子どもに平等に接している。	15名	0名	0名
	・子どもの自己肯定感が育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれている。	15名	0名	0名
	・子どもが自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意している。	15名	0名	0名
	・子どもの力を信じ、見守る援助の大切さを感じている。	15名	0名	0名
保護者支援	・特別な支援が必要な子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育内容について配慮している。	14名	1名	0名
	・子どもの育ち、困り感や気になることを共有し、保護者との信頼関係を構築しながら必要であれば専門機関との連携が図られている。	15名	0名	0名
保育について	・クラスだよりなどの配布頻度や時期は適切である。また、紙面では子どもたちの育ちが伝わるように配慮している。	15名	0名	0名
	・保育の資質向上のために、園内、園外の研修会に積極的に参加している。	15名	0名	0名
保育の研究	・研修で学んだことを活かした保育を心掛け、職員で共有できるよう努めている。	15名	0名	0名
	・園内研究のテーマには、顕著に取り組んでいる。	15名	0名	0名
	・自身の課題に取り組んでいけるように前向きに過ごしている。	13名	2名	0名
	・保育を深めるために職員間で話し合うことができている。	13名	2名	0名
	・組織の一員として	15名	0名	0名
組織の一員として	・個人情報の取扱い、データ流出など守秘義務の遵守がされている。	15名	0名	0名
	・与えられた役割に責任を持ち、自分の力を発揮するよう努めている。	15名	0名	0名
	・就業規則を理解し誠意をもって業務遂行に当たっている。	15名	0名	0名
	・報告、連絡、相談は適切にされている。	14名	1名	0名
	・苦情解決の仕組みが確立され、理解している。	15名	0名	0名
	・健康面、自己管理や整理整頓し業務の効率化を意識している。	14名	1名	0名
	・身だしなみ、挨拶、言葉遣いや電話対応など外部対応は適切に行っている。	15名	0名	0名
食育	・子どもが食事を楽しむことができる雰囲気づくりをしている。	15名	0名	0名
	・安全で、安心できる食材の提供をしている意図を理解している。	15名	0名	0名
	・子どもにふさわしい食生活が展開されるように、見直しや改善を行っている。	15名	0名	0名
総合評価		15名	0名	0名

# 当年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 ぼだいじ福祉会

ぼだいじIRORI園

## (1)幼児部

	自己評価 A:できている B:ある程度できている C:改善を要する	A	B	C
教育について	・園の教育理念を理解し、実施している。	7名	0名	0名
	・行事は、日常の延長線に基づいて、子どもの発達やあそびの過程を大切にしながら、適切に準備、振り返りができている。	7名	0名	0名
	・子どものやりたいことや、興味のあること、思いや言動を保育に取り入れ子ども主体の保育を心がけている。	7名	0名	0名
	・子どもが主体的に活動できるような人的・物的環境を整備し、時間の保証をしている。	7名	0名	0名
	・1人ひとりの子どもに応じ、心に寄り添い、適切な援助をしている。	7名	0名	0名
環境について	・園庭、室内環境では園児自身が安心して行動できるように見守り、援助している。	7名	0名	0名
	・園庭、室内の環境は子どもたちのあそびに合わせて、整えている。	7名	0名	0名
	・遊具、環境等の安全点検とともに、整理整頓も適切に行っている。	7名	0名	0名
	・アレルギーや体調不良時の対応投薬の流れは、マニュアル意識し、適切な対応をしている。	7名	0名	0名
	・事故、怪我の際は報連相を基本にヒヤリハットや事故報告書を作成し保育に反映している。	7名	0名	0名
	・避難訓練(火事・地震・不審者・浸水)などの緊急時に対応する体制を把握できている。安全確保のために適切な対応を心がけている。	7名	0名	0名
子どもとの接し方	・1人1人の子どもの人格を尊重し、子どもの思いを大切に援助の工夫をしている。	7名	0名	0名
	・ふさわしい言葉を選び、すべての子どもに平等に接している。	7名	0名	0名
	・子どもの自己肯定感が育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれている。	7名	0名	0名
	・子どもが自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意している。	7名	0名	0名
	・子どもの力を信じ、見守る援助の大切さを感じている。	7名	0名	0名
保護者支援	・子どもの育ち、困り感や気になることを共有し、保護者との信頼関係を構築しながら必要であれば専門機関との連携が図られている。	7名	0名	0名
	・クラスだよりなどの配布頻度や時期は適切である。また、紙面では子どもたちの育ちが伝わるように配慮している。	7名	0名	0名
保育について	・保育の資質向上のために、園内、園外の研修会に積極的に参加している。	7名	0名	0名
	・研修で学んだことを活かした保育を心掛け、職員で共有できるよう努めている。	7名	0名	0名
	・園内研究のテーマには、顕著に取り組んでいる。	7名	0名	0名
	・自身の課題に取り組んでいけるように前向きに過ごしている。	7名	0名	0名
	・保育を深めるために職員間で話し合うことができている。	6名	1名	0名
組織の一員として	・個人情報の取扱い、データ流出など守秘義務の遵守がされている。	7名	0名	0名
	・与えられた役割に責任を持ち、自分の力を発揮するよう努めている。	7名	0名	0名
	・就業規則を理解し誠意をもって業務遂行に当たっている。	7名	0名	0名
	・報告、連絡、相談は適切にされている。	7名	0名	0名
	・苦情解決の仕組みが確立され、理解している。	7名	0名	0名
	・健康面、自己管理や整理整頓し業務の効率化を意識している。	7名	0名	0名
	・身だしなみ、挨拶、言葉遣いや電話対応など外部対応は適切に行っている。	7名	0名	0名
食育	・こどもが食事を楽しむことができる雰囲気づくりをしている。	7名	0名	0名
	・安全で、安心できる食材の提供をしている意図を理解している。	7名	0名	0名
	・子どもにふさわしい食生活が展開されるように、見直しや改善を行っている。	7名	0名	0名
総合評価		7名	0名	0名

# 当年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 ぼだいじ福祉会

ぼだいじIRORI園

## (1)乳児部

	自己評価 A:できている B:ある程度できている C:改善を要する	A	B	C
教育について	・園の教育理念を理解し、実施している。	14名	0名	0名
	・行事は、日常の延長線に基づいて、子どもの発達やあそびの過程を大切にしながら、適切に準備、振り返りができている。	14名	0名	0名
	・子どものやりたいことや、興味のあること、思いや言動を保育に取り入れ子ども主体の保育を心がけている。	14名	0名	0名
	・子どもが主体的に活動できるような人的・物的環境を整備し、時間の保証をしている。	13名	1名	0名
	・1人ひとりの子どもに応じ、心に寄り添い、適切な援助をしている。	14名	0名	0名
環境について	・園庭、室内環境では園児自身が安心して行動できるように見守り、援助している。	14名	0名	0名
	・園庭、室内の環境は子どもたちのあそびに合わせて、整えている。	14名	0名	0名
	・遊具、環境等の安全点検とともに、整理整頓も適切に行っている。	14名	0名	0名
	・アレルギーや体調不良時の対応投薬の流れは、マニュアル意識し、適切な対応をしている。	14名	0名	0名
	・事故、怪我の際は報連相を基本にヒヤリハットや事故報告書を作成し保育に反映している。	14名	0名	0名
	・避難訓練(火事・地震・不審者・浸水)などの緊急時に対応する体制を把握できている。安全確保のために適切な対応を心がけている。	13名	1名	0名
子どもとの接し方	・1人1人の子どもの人格を尊重し、子どもの思いを大切に援助の工夫をしている。	14名	0名	0名
	・ふさわしい言葉を選び、すべての子どもに平等に接している。	14名	0名	0名
	・子どもの自己肯定感が育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれている。	14名	0名	0名
	・子どもが自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意している。	14名	0名	0名
	・子どもの力を信じ、見守る援助の大切さを感じている。	14名	0名	0名
保護者支援	・特別な支援が必要な子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育内容について配慮している。	14名	0名	0名
	・子どもの育ち、困り感や気になることを共有し、保護者との信頼関係を構築しながら必要であれば専門機関との連携が図られている。	14名	0名	0名
保育者支援	・クラスだよりなどの配布頻度や時期は適切である。また、紙面では子どもたちの育ちが伝わるように配慮している。	13名	1名	0名
	・保育の資質向上のために、園内、園外の研修会に積極的に参加している。	14名	0名	0名
保育について	・研修で学んだことを活かした保育を心掛け、職員で共有できるよう努めている。	14名	0名	0名
	・園内研究のテーマには、顕著に取り組んでいる。	14名	0名	0名
	・自身の課題に取り組んでいけるように前向きに過ごしている。	14名	0名	0名
	・保育を深めるために職員間で話し合うことができている。	14名	0名	0名
	・個人情報の取扱い、データ流出など守秘義務の遵守がされている。	14名	0名	0名
組織の一員として	・与えられた役割に責任を持ち、自分の力を発揮するよう努めている。	13名	1名	0名
	・就業規則を理解し誠意をもって業務遂行に当たっている。	14名	0名	0名
	・報告、連絡、相談は適切にされている。	14名	0名	0名
	・苦情解決の仕組みが確立され、理解している。	14名	0名	0名
	・健康面、自己管理や整理整頓し業務の効率化を意識している。	14名	0名	0名
	・身だしなみ、挨拶、言葉遣いや電話対応など外部対応は適切に行っている。	14名	0名	0名
	・子どもが食事を楽しむことができる雰囲気づくりをしている。	14名	0名	0名
食育	・安全で、安心できる食材の提供をしている意図を理解している。	14名	0名	0名
	・子どもにふさわしい食生活が展開されるように、見直しや改善を行っている。	14名	0名	0名
	総合評価	14名	0名	0名